

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)						
ES11A001	教育課程編成の理論と実践(Theory and Practice of Curriculum Design and Reform)					共通科目						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	1	大学院教育学 研究科			氏名 有定裕雅, 竹中真希子, 伊藤安浩, 三次徳二 E-mail arisada-hiromasa@oita-u.ac.jp, tmakiko@oita-u.ac.jp, yasuihiro-ito@oita-u.ac.jp, tokuji@oita-u.ac.jp 内線 6130 (有定) 7586 (竹中) 7636 (伊藤) 7723 (三次)						
授業の概要	・本授業においては、教育課程編成の理論と実践に関する理解を深め、課題を発見し、具体的な対応を立案・検討する力を養う。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1 2 3 4 5 6 7 8 9 10						
目標1	学習指導要領に基づき教育課程を編成するための原理について深く理解する											
目標2	教育課程編成に関する学校現場の事例を題材として現状の課題を発見する											
目標3	教育課程編成に関する学校現場の現状の課題に対し具体的な対応策を立案・検討する											
目標4	教育課程の点検・評価に関する原理について深く理解する											
目標5	教育課程の点検・評価に関する学校現場の事例を題材として現状の課題を発見する											
目標6	教育課程の点検・評価に関する学校現場の現状の課題に対し具体的な対応策を立案・検討する											
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	授業テーマに関する学校の具体的な課題の理解											
2	学習指導要領に基づいた教育課程の編成原理とその演習 - 教育課程の基準性を中心に											
3	学習指導要領に基づいた教育課程の編成原理とその演習 - 教育課程の編成と実施を中心に											
4	学習指導要領に基づいた教育課程の編成原理とその演習 - 指導計画の作成を中心に											
5	学習指導要領に基づいた教育課程の編成原理とその演習 - 教育課程実施上の配慮事項を中心に											
6	学習指導要領に基づいた教育課程の編成原理とその演習 - 教育課程編成の手順を中心に											
7	フィールドワーク											
8	教育課程の点検・評価の方法に関する講義 - 法規的側面を中心に											
9	教育課程の点検・評価に関する実践的演習と討議 - 法規的側面を中心に											
10	教育課程の点検・評価に関する講義 - 学校評価ガイドラインを中心に											
11	教育課程の点検・評価に関する実践的演習と討議 - 学校評価ガイドラインを中心に											
12	フィールドワーク											
13	教育課程の点検・評価に関する講義 - 教育課程の改善方法を中心に											
14	教育課程の点検・評価に関する実践的演習と討議 - 教育課程の改善方法の作成を中心に											
15	学習成果の発表と総括											
ラ ア:知識の定着・確認 イ:意見の表現・交換 ニ C:応用志向 テ D:知識の活用・創造 グ	所属校の教育課程及び点検・評価に関する資料を分析し、課題を発見、発表する。授業で獲得した知識や学校実習で獲得した知見を基に院生同士の議論を通じて対応策を立案する。				工 夫 そ の 他 の							
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	・教員の指示に従い、学習指導要領及び解説等を精読する。 ・現職院生は、所属校の教育課程及びその評価点検に関する資料を収集する共に、それらの課題を整理する。										
	事後学修	・演習において討議したことを整理し、個人の視点を明確にするとともに、まとめた事柄について、自己の視点と対照して、到達点を整理する。										
教科書	特になし。											
参考書	小学校学習指導要領(平成29年告示)、同解説総則編 中学校学習指導要領(平成29年告示)、同解説総則編											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	複数教員による多面的・総合的評価(受講態度、課題に取組む姿勢、討論への参加等)	70%										
	最終レポート(本授業において学んだ事や今後解決すべき課題など)	30%										
注意事項	・本授業においては教員集団のメンバーとしての自覚を持ち、メンタリングの観点から、経験の豊富な者は経験の少ない者の成長をサポートするよう努力すること。また、経験の少ない者は経験の豊富な者に積極的に教を請うこと。											
備考	現職院生・学部卒業生の混合のグループにおいて、学卒院生は卒業校、現職院生は所属校における現状を説明し、生徒としてのメリット・デメリットや教員としての実施上の課題等について協議しあうなど、アクティブラーニングの手法を取り入れ、現職院生・学部卒業生両者の学びあい・相互評価を基本とし、実務家											
リンク	URL											